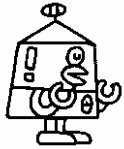


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の発芽と成長 / 理解シート

植物が育つための条件は、なんなの^{じょうけん}



発芽の後、植物が元気に育つには、日光がよく当たること、水や肥料^{ひりょう}があたえられることが条件だね。

何が不足したらよく育たないかを調べれば、育つための条件がわかる

植木ばちで育てている植物に水をやらないと、かれてしまいます。また、植木ばちを日の当たらない室内に置いたままにしておくと、どんなに水や肥料をあたえても、葉の色が悪くなり、元気がなくなります。

土のかわりに、肥料が入っていないパーミキュライトにたねをまいたインゲンマメを3本用意し、つぎのように、育つ条件を変えて育ち方を調べてみましょう。

日光を当て、水や肥料もあたえる、日光、水は十分あるが、肥料をあたえない、水や肥料をあたえるが、日光を当てない。

この実験では、もも元気がなくなってきます。このことから、植物が育つためには、水、日光、肥料がそろっていなければ、うまく育たないことがわかります。

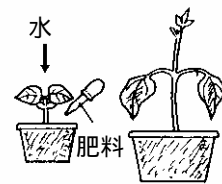
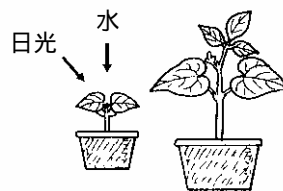
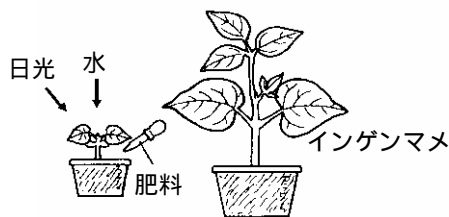
水が多すぎたり、肥料がこすぎると、植物はかれることがある

植物に水をやりすぎると、根の周りが水びたしになり、根が呼吸^{こきゅう}（土中に混じっている空気をすう）できなくなって、かれてしまいます。また、こい肥料をやりすぎると、植物の根は肥料を^{きゅうしゅう}吸収することができなくなります。肥料はできるだけうすめて、あたえます。

日光、水、肥料がそろっている

肥料がないと成長が悪い

日光がないと、かれる



植物が育つ条件の実験